

旭ろうさい病院ニュース

病院情報誌 第176号

令和4年10月1日発行

発行所:旭ろうさい病院

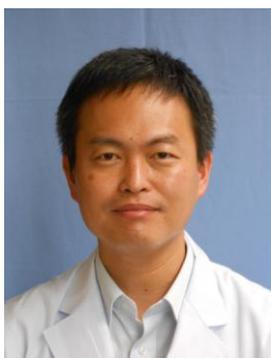
〒488-8585

尾張旭市平子町北61番地

TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

「経口 GLP-1 受容体作動薬リベルサス錠について」



旭労災病院 糖尿病・内分泌内科主任部長

小川 浩平

登録医の先生方にはいつも大変お世話になっております。

先日、日本糖尿病学会から「2型糖尿病の薬物療法のアルゴリズム」が発表されました。肥満症例や慢性腎臓病および心血管疾患の併存例に GLP-1 受容体作動薬と SGLT2 阻害薬の有用性が明示されており、両者は今後より多くの患者に使用されていくものと思われます。

本邦では、GLP-1 受容体作動薬は 2010 年にビクトーザが発売されて以来ずっと注射製剤しかありませんでした。ペプチドである GLP-1 受容体作動薬を経口剤にするのは技術的に困難でした。ノボノルディスク社は SNAC 配合という新技術を用いて問題を克服しました。経口 GLP-1 受容体作動薬リベルサス錠は 2021 年 12 月に長期処方解禁となつてから多くの患者に処方されるようになっていきます。私自身も、最近当科で紹介いただく患者さんの処方にリベルサス錠が含まれていることが多くなつたなと感じています。



GLP-1 受容体作動薬は、インスリン分泌促進およびグルカゴン分泌抑制にて血糖コントロールし、胃排泄遅延および食欲抑制にて体重減少が期待される薬剤です。副作用は消化器系が多く、胃の不快感、便秘、下痢などが起こることがあります。特に胃の不快感（ムカムカする感じ）がよく見られますが、この副作用が食事摂取を減らし体重減少につながります。私は患者さんに許容範囲内なら我慢して継続するように説明しています。

リベルサス錠は飲み方に注意が必要です。SNAC は胃の内容物の影響を受けやすいため、以下の条件を遵守します。

- ① 空腹状態（起床時に飲むことを推奨しています）
- ② コップ 1 杯 120ml 以下の水分と一緒に
- ③ 服用後 30 分は飲食および他の薬剤の内服禁止
- ④ 分割・粉砕およびかみ砕いての服用は禁止

リベルサス錠の効きが悪いと思われるときは、きちんと用法を守っていない可能性が高いです。特に消化器系副作用が全くない患者さんには注意が必要です。例えば夕食時間が遅いとか夜食を食べる様なら、朝はまだ胃に内容物が残っていると思われます。リベルサス錠を処方した患者さんには、服用の状況や夜食の習慣の有無などを確認した方が良いでしょう。

適正使用の話です。インターネットで GLP-1 と検索すると、適応外使用である美容・痩身・ダイエット等を目的として自由診療での処方を宣伝する医療広告が散見されます。日本糖尿病学会では 2 型糖尿病を有さない日本人における安全性と有効性は確認されていないと、適応外使用に対して勧告をしています。

注射製剤は患者さんにとって心理的なハードルが高く、経口のリベルサス錠はやはり画期的だと思います。当院でも管理栄養士の指導と組み合わせて体重と血糖のコントロールが極めて改善するケースが出ています。もしお困りの肥満 2 型糖尿病の症例がみえましたら、ご紹介いただければ幸いです。



当院の特定看護師紹介

☆手術室看護師長補佐：山本浩輔

☆ICU 看護師長補佐：平原亮司

☆皮膚・排泄ケア認定看護師：西畠千恵



令和3年度から当院も特定行為研修ができるようになり令和4年度、3名が特定行為研修を修了しました。来年度は1名が研修を修了する予定になっています。

【特定看護師とは】

2015年10月に厚生労働省が施行した「特定行為に係る看護師の研修制度」によって生まれた名称です。

特定行為に係る看護師の研修制度は「看護師が医師の作成した手順書により特定行為をおこなう場合に、特に必要とされる実践的な理解力、思考力、および判断力並びに高度かつ専門的な知識および技能の向上をはかるための研修」となっており、特定行為ごとに研修を受ける必要があります。

【特定行為のメリットは】

研修を修了すると、医師の判断を待たずに診療の補助をおこなうことができます。研修を受ける前は患者の病状や変化を医師に一回一回報告し、判断や指示を仰いでいたものが、あらかじめ医師が作成した手順書をもとに自分の判断で特定行為をおこなえるようになるということです。

特定看護師がいるメリット

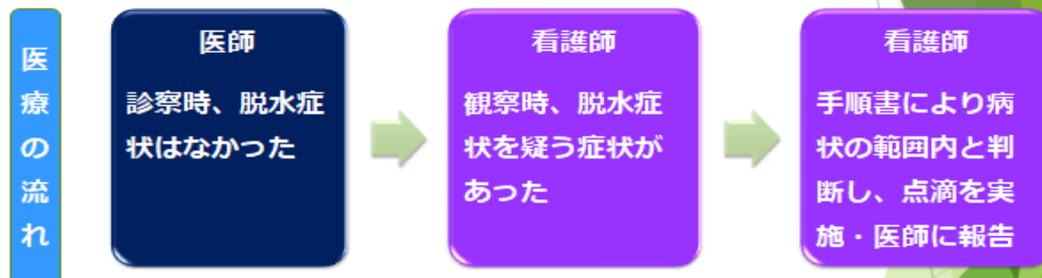


通常の医療の流れ



医師と連絡が速やかに取れなかったり、指示を出せない状況にあった場合、対応に時間がかかってしまう

特定看護師によってこう変わる！



連絡を受け指示をする工程がなくなり、タイムリーな医療行為が提供できます。

特定行為に係る看護師の研修制度は、2025年に団塊の世代が75歳以上になるときに、医師の補助が足りないとして設けられたものです。今後の医療を支えるものとして、またニーズが高まる在宅医療で活躍できる看護師として期待されています。手順書の指示に従ってリアルタイムで患者の処置や早期対応をすることが可能になるため、患者が求めているケアがすぐ提供でき、患者にとってもメリットがあります。

特定行為は全21区分38種類あり、現在当院で行える特定行為は下記の4種類

- ①持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
- ②脱水症状に対する輸液による補正
- ③直接動脈穿刺による採血
- ④橈骨動脈ラインの確保

患者さんへのご案内

当院では、厚生労働省「特定行為に係る看護師の研修制度」の研修を修了した看護師が、医師の指示のもと一定の診療の補助(特定行為)を実施しています。

特定認定看護師は、高い判断力と技能を兼ね備え、より高度な診療の補助を行える看護師です。
皆さまのご理解・ご協力をお願いします。

※特定行為を拒否することは可能です。拒否をしたことで治療上の不利益な扱いは受けません。

特定行為

- ・脱水症状に対する輸液による補正
- ・持続点滴中の高カロリー輸液投与量の調整
- ・動脈血採血
- ・動脈ラインの確保



独立行政法人労働者健康安全機構
旭ろうさい病院 病院長



現在、それぞれが所属しているセクションで特定行為を実施しており、手術室では主に橈骨動脈ラインの確保。ICU では橈骨動脈ラインの確保と直接動脈穿刺による採血を行っています。持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整、脱水症状に対する輸液による補正の2つの特定行為は医師の指示入力の問題があり、なかなか活動に活かすことができていない状況です。

今後は活動範囲拡大に向けて運用方法を検討し、より迅速に質の高い看護を提供できるように務めてまいります。

厚生労働省は2025年までに約10万人の特定看護師を育成する方針としており、当院でも今後特定看護師が増えていく予定です。



橈骨動脈ライン確保の様子



動脈採血のトレーニングの様子



医師異動のお知らせ



新任医師

令和4年10月1日付

専攻医	<small>おおわき</small> 大脇	<small>そうた</small> 壮太	平成31年3月	日本医科大学卒業
専攻医	<small>おくだ</small> 奥田	<small>けいすけ</small> 佳介	平成31年3月	名古屋市立大学卒業
専攻医	<small>しばた</small> 柴田	<small>はると</small> 治人	平成31年3月	名古屋市立大学卒業
専攻医	<small>やまね</small> 山根	<small>ゆうき</small> 佑基	平成31年3月	名古屋市立大学卒業
専攻医	<small>はっとり</small> 服部	<small>まさたか</small> 正隆	令和2年3月	名古屋市立大学卒業

退任医師

令和4年9月30日付

呼吸器内科医師	杉原 雅大
呼吸器内科医師	藤川 将志
専攻医	久保田 淳
専攻医	柴田 尚輝
専攻医	澤崎 司